

**今こそ利益を還元すべき時！
社員と家族の労苦に応えよ！**

年末手当3.5ヶ月は十分可能な数字だ！

2013年度年末手当第2回団体交渉

本部は11月5日、2013年度年末手当第2回団体交渉を開催し、3.5ヶ月満額支給と5万円分の商品券獲得に向け、議論を行いました。詳細は『業務速報888号』を参照して下さい。

組合は「リーマンショックや東日本大震災による大幅減収から立ち直り、過去最高の中間決算をつくり出したのは社員の努力である。今こそ社員の努力に応える時である。内部留保としてため込むことなく、要求通りの年末手当を支給すること」を強く要求しました。会社は「支給内容は業績だけで決めるのではない。世間相場、動向、当社の賃金水準など様々な要因を加味して決める。社員の努力には十分過ぎるほど報いているし、安定的に支給してきた。今の水準を維持するのも社員の努力だ」などと年末手当増額支給を押しさえ込む主張を行いました。

また、報道で大企業の経営者から賃上げに前向きな発言が相次いでいることなどから、世間相場を上回る年末手当をJR東海が支給し賃金相場をリードするべきという組合主張に対しては「当社が相場をリードするつもりはない」とあくまでも世間相場も決定要因のひとつという、日和見的姿勢に終始しました。

会社は「当社の賃金水準は相当高い」と主張しますが職場にはそんな認識はなく、相当高いのは突出している役員報酬です。これでは士気が下がるばかりです。

3.5ヶ月分支給は十分可能です。内部留保や役員報酬ばかりにまわさず、社員と家族の日夜の努力に応えるべきです。

次回第3回団体交渉で会社の回答があります。

中間決算は過去最高利益！